

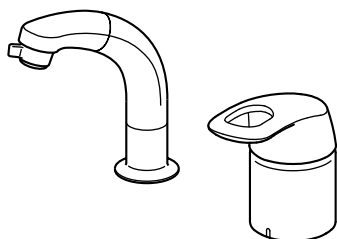
ホース収納式シングルレバー 洗髪シャワー混合水栓

SF-500SY型

左記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番シールをご確認ください。品番シールの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■各部の名称	1
■安全上の注意	2
■ご使用前に	5
■ご使用方法	5
■凍結の恐れがある場合	8
■日常のお手入れ	9
■定期的なお手入れ	9
■定期的な部品交換のお願い	14
■修理を依頼される前に	15
■アフターサービスについて	18

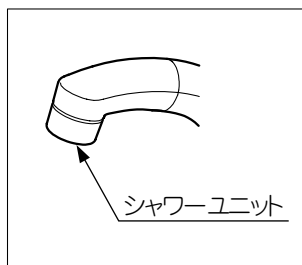
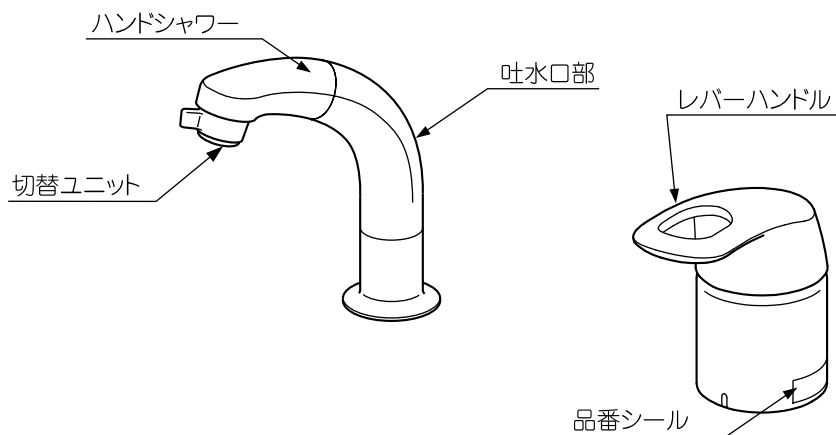
はじめに

つかいかた

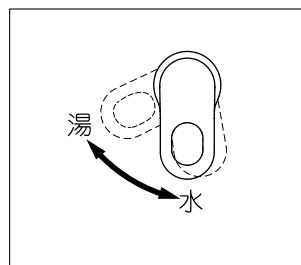
お手入れ

こんなときは

各部の名称



〈シャワーユニット付の場合〉



〈ハンドル操作〉

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

安全上の注意

- ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



……「注意하십시오！」（上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



……「分解してはいけません！」



……「指示した場所には触れてはいけません！」

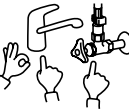


……「指示通りに하십시오！」（一般的な行動指示記号です。）

警告: ヤケドをしないために

 (禁止)	小さいお子さまだけの使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをする恐れがあります。	
 (禁止)	他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。 ※同時使用のないように注意しないと、ヤケドをする恐れがあります。	
 (禁止)	給湯温度は最高85℃以上で使用しないでください。安全のため60℃給湯をおすすめします。 ※水栓が破壊し、漏水のためにヤケドや家財に損害を与える恐れがあります。	

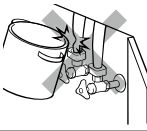
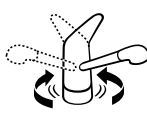
⚠ 警告:ヤケドをしないために

 (分解禁止)	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
 (接触禁止)	高温の湯をお使いのときには、ホースは高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	給水圧力 ≥ 給湯圧力 
 (指示)	お使いになる前に必ず素手で適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	お湯をお使いになるときは、必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。 ※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、しばらく水を流してください。 ※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財など濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
 (禁止)	【寒冷地用の場合】 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

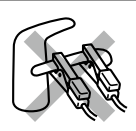
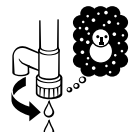
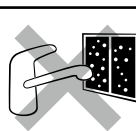
⚠ 注意:正しくお使いいただくために

 (禁止)	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
--	---	--

⚠ 注意:正しくお使いいただくために

 (禁止)	ハンドシャワー引出し口に直接水をかけないでください。 ※水がキャビネット内に浸入する場合があります。	
 (禁止)	キャビネット内の物を出し入れするとき、給水・給湯ホースに引っ掛けないようにしてください。 ※ホースに無理な力が加わり、給水・給湯ホースの外れや損傷による漏水の原因になります。	
 (禁止)	吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。 ※摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時にスパウト部から微少の水がにじみ出る恐れがあります。	
 (指示)	レバーハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。	
 (指示)	日頃から、ときどき吐水口を回してください。 ※吐水口を長期間回さずに使用すると、機能部に水あかなどが付着し回りにくくなります。無理に回そうとすると、水漏れの原因となります。	
 (指示)	【車椅子対応化粧台に組み合わせてご使用の場合】 座った状態で洗髪される場合は、ご家族の方、もしくは介助の方が付き添ってください。 ※ケガやヤケドをしたり、水がこぼれ、キャビネットや衣類、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。	

⚠ 注意:凍結防止のために

 (禁止)	【寒冷地用の場合】凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。 ※発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財等をぬらす財産損害発生 の恐れがあります。	
 (指示)	【寒冷地用の場合】凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。 ※凍結破損で漏水し、家財等をぬらす財産損害発生 の恐れがあります。	
 (指示)	凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。 ※凍結破損で漏水し、家財等をぬらす財産損害発生 の恐れがあります。	

ご使用前に

ストレーナーを掃除してください

施工後はじめてお使いになる前に、正常に吐出することをご確認いただき、ストレーナーの掃除をしてください。(P.9～12参照)

注意

ストレーナーを掃除しないと、配管の中のゴミが流れ出て、ストレーナーが詰まり、正常に吐出しない場合があります。

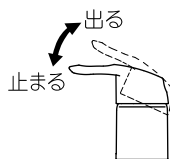
ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

- 比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温にしてください。
- 能力切替付の給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
※吐出量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- 給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。
この時は、給湯器の設定温度(能力切替付きは能力)を少し下げてください。

ご使用方法

吐出量の調節

レバーハンドルを上げると吐出し、上げ具合で吐出量を調節できます。
レバーハンドルはどの位置でも下げると止水します。



温度の調節

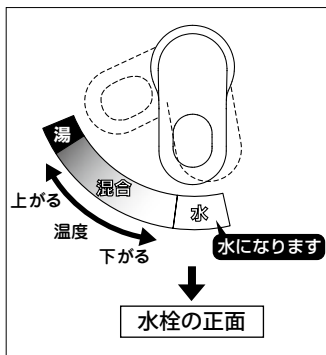
レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へ回すと吐水温度が上がります。
レバーハンドルが使い易い正面位置にあるとき水になるので、無意識での湯の使用や、無駄な給湯器の着火を抑制できます。

ポイント

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。



クリックより左側では湯が出ています。



整流・シャワーの切替え〈切替ユニット付の場合〉

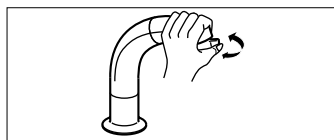
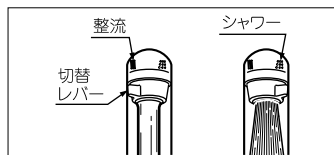
整流で水を出す時はハンドシャワーの切替レバーを左側に、シャワーを出す時は右側に切り替えてください。

注意

切替レバーは、確実に整流の位置、もしくはシャワーの位置に切り替えてください。
※途中で止めると水が飛びはね、衣類がぬれる可能性があります。

ポイント

シャワーと整流を切り替える際、吐水口が回転して操作しにくい場合は、吐水口を押さえると切替操作をスムーズに行えます。

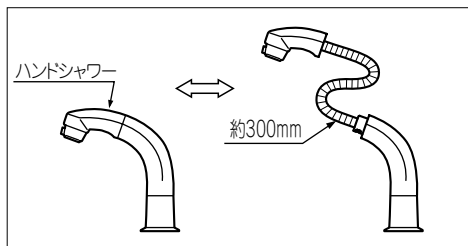


引出長さの調節

ハンドシャワーは、約300mmまで引き出せます。お好みの長さでご使用ください。

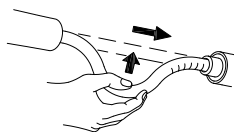
ポイント

化粧台との組み合わせにより、ホース引き出し長さは変わります。



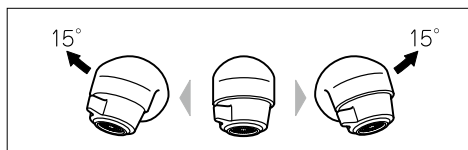
ポイント

- ハンドシャワーの出し入れがしにくいときは、シャワーホースに手をそえて収納してください。
- 寒い時期、ハンドシャワーの出し入れが固いときは、しばらくの間、ホースにお湯または水を通水してください。



吐出角度の調節

ハンドシャワーは、納めた状態で左右15°ずつ、計30°回転します。お好みの角度でご使用ください。

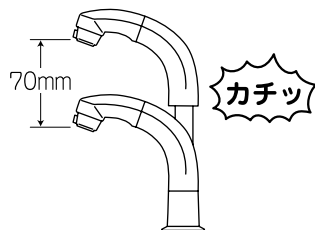


吐水口高さの変更

吐水口は約70mm高さを上げることができます。用途により高さを変えてご使用ください。

ポイント

- 上げる時は吐水口を握り、カチッと音がするまで引き上げてください。
- 下げる時は吐水口を握り、吐水口下端までゆっくりと降ろしてください。



注意

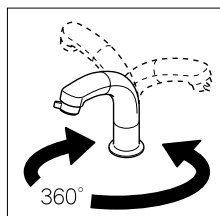
吐水口は、一番上もしくは一番下の高さで、ご使用ください。途中の位置で止めて使うと、カウンター下へ水が浸入することがあります。

吐出口部の回転

吐水口は360°回転する構造となっています。組合せの化粧台等に合わせてお好みの位置でご使用ください。

注意

- 回転させて化粧台等に当てないように注意してください。
- 回転させて陶器・洗面ボウルの外に吐水しないように注意してください。



凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。

凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

一般地の場合

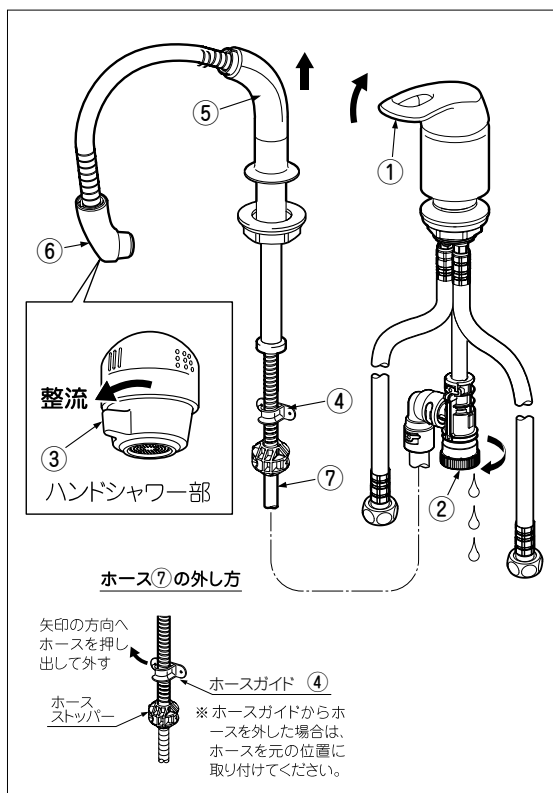
凍結が予想される場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合もあります。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 配管などに保温材を巻く。

寒冷地の場合

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. 配管の水抜栓を操作する。
 2. レバーハンドル①を上げる。
 3. 水抜栓②を開ける。
 4. レバーハンドル①を全開状態で数回、水側から湯側まで回す。
 5. ハンドシャワーの切替レバー③を「整流」に切り替える。
 6. ホースガイド④がある場合は、ホースガイド④からホース⑦を外す。
 7. ガイド管⑤を引き上げ、ハンドシャワー⑥を引き出し、振って水をよく切る。
 8. ホース⑦を水抜栓②より上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。
 9. 水栓の水が抜けたらレバーハンドル①を閉める。
- ※水抜き完了後は忘れずに水抜栓②を閉めてください。



日常のお手入れ

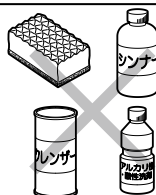
いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。

注意

水栓の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・ クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・ 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・ ナイロンたわし、ブラシ等
- ・ シンナー、ベンジン等の溶剤



- 酸性・アルカリ性の洗剤は本体の変形、変色、故障、性能劣化の原因となりますので使用しないでください。また、掃除で酸性洗剤等を使った場合はすぐに本品を十分水洗いしてください。

定期的なお手入れ

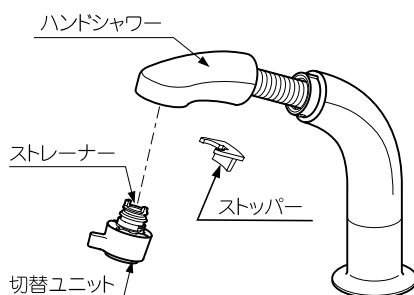
ストレーナーの掃除 〈切替ユニット付の場合〉

切替ユニットのストレーナーにゴミが詰まると、吐出状態が乱れたり、吐出量が少なくなります。ときどき、次の要領で掃除してください。

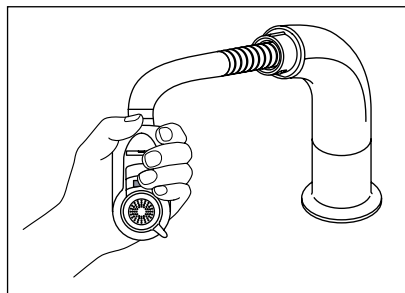
注意

ストレーナーを掃除する際は、**排水栓を閉じて**行ってください。

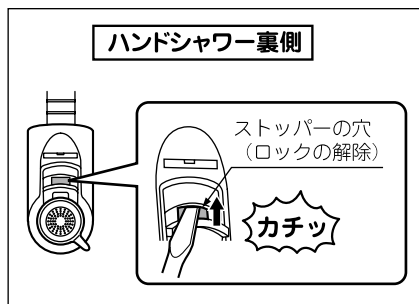
※ストッパーを紛失する恐れがあります。



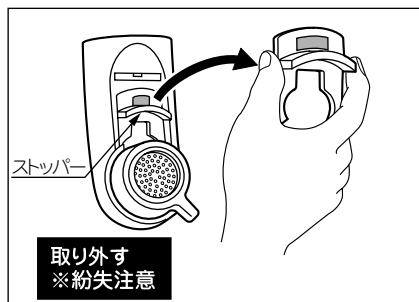
1. ハンドシャワーを引き出し、裏側を向けてください。



2. ストッパーの穴に、指もしくはドライバーを入れ、スライドさせる。
※ドライバーを使用する際は、ハンドシャワーにキズが付かないよう注意してください。



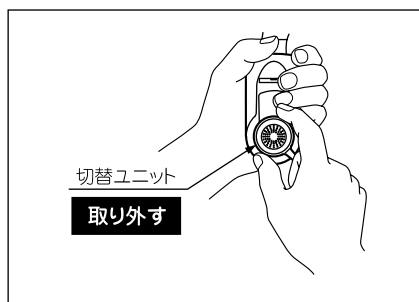
3. ストッパーを取り外します。
※ストッパーの紛失に注意してください。



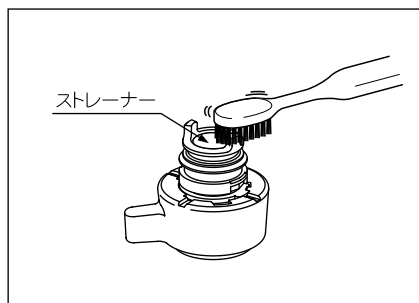
4. 切替ユニットを引っ張り、取り外してください。

注意

切替ユニットが固くて外しにくい場合がありますが、切替ユニットは回転させず、引き抜いて外してください。
※無理に回転させると、切替ユニットが破損する恐れがあります。



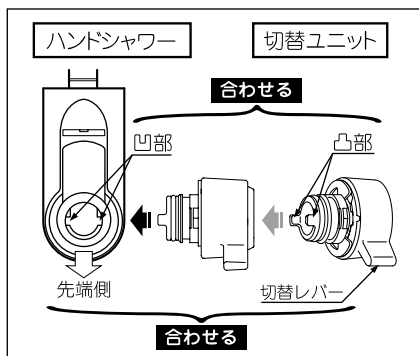
5. 取り外した切替ユニットのストレーナーを、歯ブラシ等で掃除してください。



6. 切替ユニットの向きに注意しながら取り付けてください。

※ハンドシャワーの凹部と切替ユニットの凸部を合わせて、しっかりと差し込んでください。

※切替レバーが、ハンドシャワーの先端側になるようにしてください。

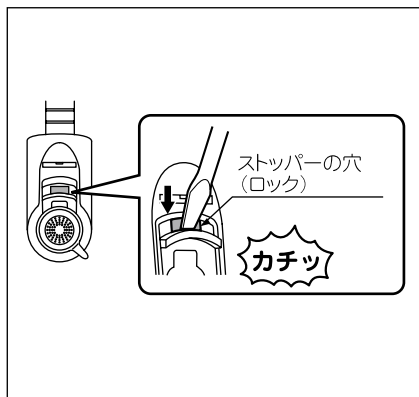


7. ストッパーを組み付け、ロックしてください。

※しっかりと、奥までスライドさせてください。

※奥までスライドできていないと、使用中に切替ユニットが外れてケガをしたり、漏水する恐れがあります。

※奥までスライドできない時は、6.に戻り、切替ユニットの向きに注意しながら取り付け直してください。



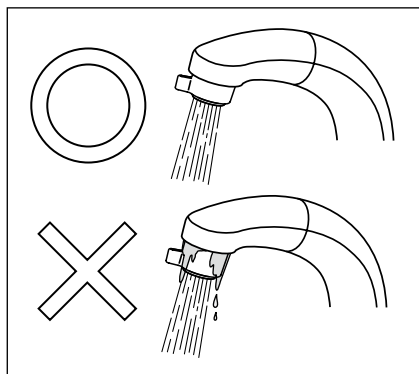
8. 切替ユニットを引っ張り、外れないことを確認してください。



9. 切替ユニットを取付後、正常に吐出することを確認してください。

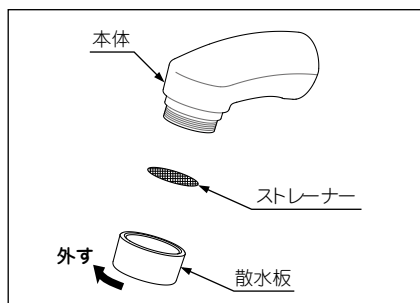
※異常のままご使用になれますと、使用中に切替ユニットが外れて、ケガをする恐れがあります。

※異常がある場合は、6.に戻り、切替ユニットの向きに注意しながら取り付け直してください。



ストレーナーの掃除 〈シャワーユニット付の場合〉

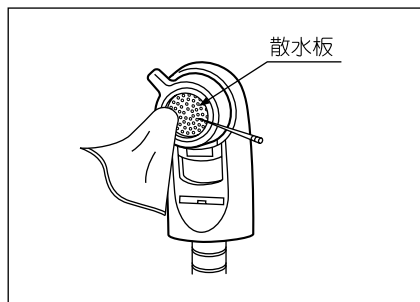
散水板を回すと外すことができます。
中にあるストレーナーを掃除してください。



散水板の掃除

散水板が汚れていると、水切れが悪くなる
ことがあります。日頃から、散水板の表面
を水ぶきしてください。

また、散水板に湯あかやゴミがたまり、
吐水量が少なくなります。年に1回程度、
散水板の穴を針などで刺して、目詰まりを
取ってください。



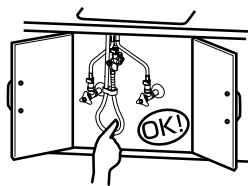
注意

強い力で刺さないでください。
※散水板が変形する恐れがあります。

水まわりの水漏れ(年2回以上)

- 水まわりの水漏れがないか点検してください。
- 見えない部分は特に注意が必要です。
(洗面台・キッチンキャビネット内)
※劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをした
り、水漏れして家財などを濡らす財産損害発
生の恐れがあります。

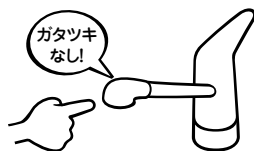
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め(P16参照)、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



水栓本体のガタツキ(年2回以上)

- 水栓本体のガタツキがないかを確認してください。
※水栓本体にガタツキがあるままお使いになると、配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。

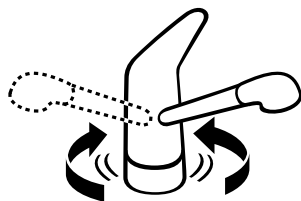
水栓本体にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



吐水口部の操作性(月1回以上)

- ときどき吐水口部を回してください。
※吐水口部を長時間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

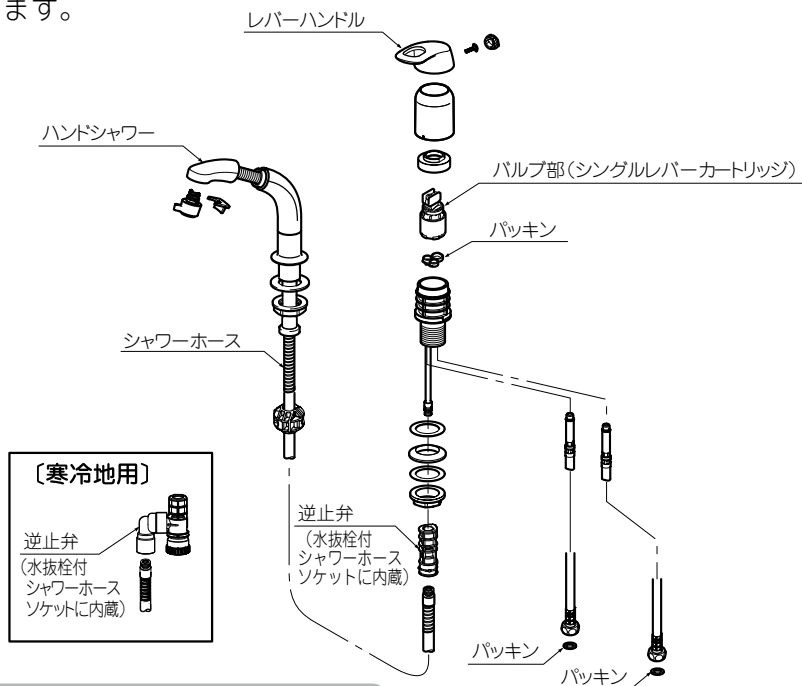
動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



定期的な部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）逆止弁、レバーハンドル、ハンドシャワー、シャワーホース、バルブ部（シングルレバーカートリッジ）、パッキンなど
- 部品の交換については、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。



定期的な点検 部品交換のめやす

使用年

/ 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12

お客さまによる日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換

摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3～5年）

買換え
ご検討

修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に以下の項目をご確認ください。

希望する吐水温度が得られない

- ・・・➤ **止水栓は十分に開いていますか？**
P.16を参照にして、湯側と水側の止水栓が十分開いていることを確認してください。
- ・・・➤ **ストレーナーにゴミが詰まっていますか？**
P.9～12を参照にストレーナーにゴミ詰まりがないことを確認してください。
- ・・・➤ **給湯器は正常に動作していますか？**
給湯器から十分な温度のお湯がきていることを確かめてください。
- ・・・➤ **他所で同時に水栓を使用していませんか？**
使用時には、他所の水栓を同時に使用しないようにしてください。
- ・・・➤ **お湯が出るまでに、時間がかかる**
節水仕様のため、冬場など配管内の冷えた水を排水するのに時間がかかり、湯の待ち時間が長く感じる場合があります。

異音がする

- ・・・➤ **止水栓を適切に絞っていますか？**
水圧が高いことにより発生する流水音が考えられます。P.16の止水栓の調節を参照にして、流量を絞ることで流水音を低減することができます。

流量が多い

- ・・・➤ **止水栓を適切に絞っていますか？**
P.16の止水栓の調節を参照にして、湯側と水側の止水栓が適切に絞られていることを確認してください。

流量が少ない

…➤ 止水栓は十分に開いていますか？

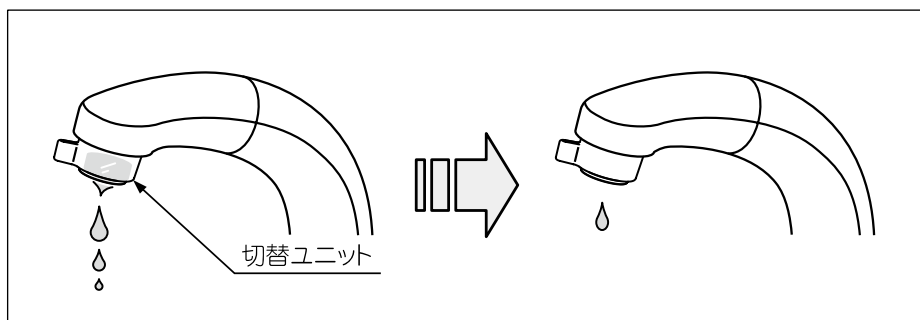
下記を参照にして、湯側と水側の止水栓が適切に絞られていることを確認してください。

…➤ ストレーナーにゴミが詰まっていませんか？

P.9～12を参照にストレーナーにゴミ詰まりがないことを確認してください。

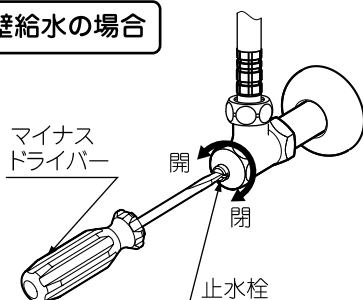
水を止めた後に、少しの間水が垂れる

切替ユニットの内部にたまった少量の水が排出されるためで、故障ではありません。

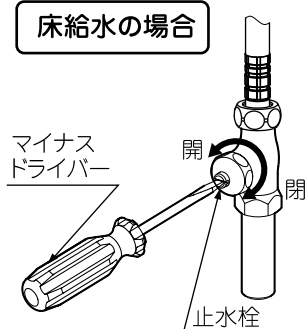


止水栓の調節

壁給水の場合



床給水の場合



※上記例は、ドライバー式止水栓です。

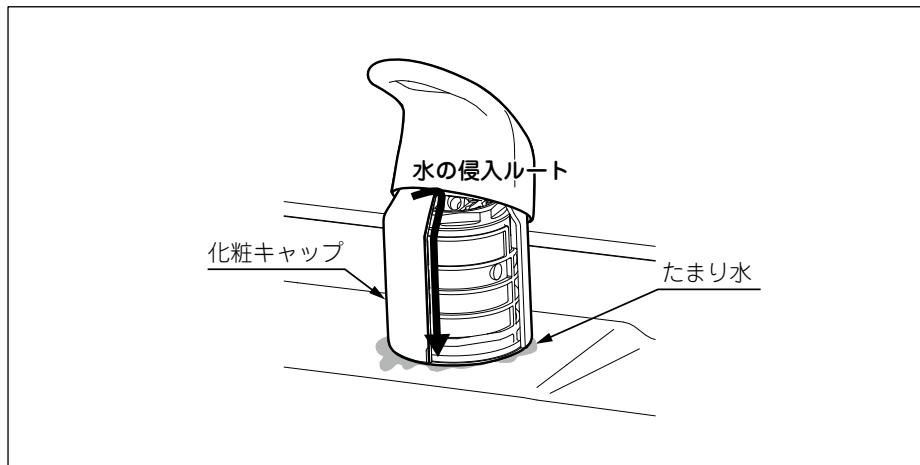
ハンドル式止水栓は、ハンドルを回して調節してください。

ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切替付のものでは適正能力にセットされていることを確かめてください。

水栓周りが濡れている

水栓内に水が入り、取付面に水がたまることがあります。故障ではありません。

化粧キャップを持ち上げ、やわらかい布などで水栓に付着した水を拭いてください。



水を拭いても、水が出続ける

ハンドルを閉じ、水栓に付着した水を拭いてしばらくしても水が出続けている場合は、漏水の可能性があります。

取扱店またはLIXIL修理受付センターまで修理を依頼してください。

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターまで修理を依頼してください。

※LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

 **0120-179-411**

アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P15)を参照して確認してください。

⚠ 注 意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

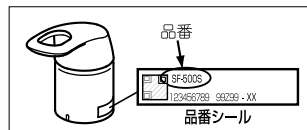
- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番(商品に表示、右図参照)
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)を製造打切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。



※品番は最後まで読みとってご連絡ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店または

LIXIL修理受付センターまで(ホームページアドレス<http://www.lixil.co.jp/support/>)

TEL ☎ **0120-179-411** 受付時間 9:00~19:00 **365日受付**

FAX ☎ **0120-179-456**

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》

お客さま相談センターまで

TEL ☎ **0120-179-400** 受付時間 平日 9:00~18:00

FAX ☎ **0120-179-430** 土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報の商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：ホース収納式シングルレバー洗髪シャワー混合水栓（品番：_____）	
保証期間	取付日より2ヶ年
お客さま	おなまえ
	おところ
	おでんわ
TEL（_____） - （_____） - _____	

無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品など、と、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
- (1) 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - (2) 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
 - (3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - (4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - (5) 建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - (6) 経年変化に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素など各種ガス)に起因する不具合
 - (8) 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行食または憂(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
 - (9) 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
 - (10) 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破壊や不具合
 - (11) 自然現象や仕環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - (12) 消耗品(バッテリー、ヒューズ、電池等)類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - (13) 温泉水、井戸水など不純物を含む水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによる故障及び損傷
 - (14) 寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - (15) 冷水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - (16) ガス・電気・給水等の供給が指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
 - (17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - (18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL 0120-179-400

FAX 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL 0120-179-411

FAX 0120-179-456

受付時間9:00～19:00(365日受付)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>